

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヨシア（トゥモロー）		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供：子どもに応じた適切な関わりを行うように、事業所内の会議を開き、子どもの状態、家族の状況を把握し関わりを一致させながら子供らしい療育の提供を行っています。	・重度の子が多いクラスであるが季節に合わせた活動行って療育の充実にも努めている。（プール遊び、果樹園遠足、そり遊び、スキー等） ・家庭との連携は事業所内面談、送迎時に話す、電話連絡、緊急携帯など連携を図っています。	・今後もより充実した療育を行う為にクラス会議などで活発に意見を出し合えるように取り組んでいきます。 ・家庭との連携は事業所内面談、送迎時に話す、電話連絡、緊急携帯など連携を図っています。
2	職員が適切により良くかかわって支援できるように様々な研修で専門性を高めるために 職員の年代や職種に合わせた専門研修があります。	特に虐待防止に関しては週に1度アンガーマネジメントの研修に参加したり年代別の研修や外部講師による研修等に積極的に参加している。	今後も研修の学びを重要な事として参加できる体制作りに努める
3	・家族支援を重要な支援として法人全体で様々な家族支援の場があり個別カウンセリング、グループカウンセリング、自助会等、親子発達等家族の困り感に寄り添って支援を行っています。	家庭との連携は事業所内面談、グルカン、CSP、送迎時に話す、電話連絡、緊急携帯など連携を図っている。	これからも保護者に寄り添って困り感には適切な関わりを持てるようにチームで取組む事を行っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのつながりや児童館との交流等の交流が少なかったことです。外活動には積極的に行っても交流の場を設けることは難しい部分でした。	インフルエンザやコロナ等感染症が流行っている時等は安全を考えて必要な外出となっているので注意して行うことだと考えられます。	今後も地域で出会う人には積極的に挨拶して交流しやすい関係作りに努力して行きます。
2			
3			